

教育力向上ワーキンググループ 会議録

1 日 時	平成26年6月17日（火）15:00～16:15
2 場 所	新居浜市役所3階 応接会議室
3 出 席 者	浦江賢治座長、一色明繁委員、今西光昭委員、森直子委員、渡邊誠一委員 伊藤久門委員、坂上公三委員、吉田達哉委員、中山瑞枝委員、國司恵美子委員 木村和則委員（事務局長兼教育力向上戦略監）、眞鍋育朗委員（総括次長兼社 会教育課長）、横井敏行委員（教育委員会事務局次長）、加藤京子委員（学校教 育課長）、尾崎洋子委員（子育て支援課主幹）、篠原絵里委員（総合政策課主任）
4 傍 聴 者	2名
浦江座長	<p>ただいまから、第1回「教育力向上ワーキンググループ」を開催いたします。本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。このワーキンググループですが、新居浜市審議会等の公開に関する要綱に基づいて、原則公開することとなっております。具体的な会議の運営につきましては、事前に開催日時、予定等について市民にお知らせし、傍聴を認めるとともに、会議の開催結果について、議事録などを公表することと致しておりますので、事前に、皆様には、ご了承いただけたらと思います。よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、ここで、第1回の会に先立ちまして、ご出席の委員さんの自己紹介から始めさせていただきます。お手元の資料に名簿がございますので、ご覧ください。私は、市の政策懇談会の委員で、座長を務めさせていただきます新居浜市中学校校長会の代表として参加いたします南中学校の浦江賢治です。よろしくお願ひいたします。それでは、団体等の委員の皆さんから、自己紹介をお願ひしたいと存じます。一色委員さんから順番にお願ひいたします。</p> <p>《委員自己紹介》</p>
浦江座長	<p>それでは、早速議題の方に入っていきたいと思ひます。本ワーキンググループは子どもたちの教育力の向上について、会として方向性を見出す必要があることから、まず、会の進め方として木村教育力向上戦略監から説明をいただいて会の進め方の示唆をいただけたらと思ひます。</p>
木村委員	《資料に基づき説明》
浦江座長	<p>本ワーキンググループは、子どもたちの学力、最終的には、子どもたちが生きていくための力を身につけていくために、学校、家庭、地域が、それぞれの立</p>

	<p>場で、また、その三者が手を結びながら子どもたちを育てていく礎になる意見を出していただけたらと思います。会議は、今回を含め9月までに5回の会を開催する予定となっており、最終的には提案内容を決定していきますが、今回は、いろんな意見を聞かせていただき、第2回につきましては、それぞれ団体等でお話しいただいたものを持ち寄っていただくこととしております。</p>
伊藤委員	<p>まず、この会が非常に有意義なもので終わるためには、この場だけで終わらすべきではなく、それをいかに具体的に子どもたち、団体に伝えるのか。その伝聞の具体性が必要なことだと思います。やろうとしていることは素晴らしいことだと思いますが、それを外向きにどうやって伝えていくのか。</p>
木村委員	<p>ワーキンググループは政策懇談会の下に設置されており、ここで討議されたことは、政策懇談会にあげて、政策懇談会が市長に提言を出すようになります。市長に提言した後、施政方針、予算に反映されることとなります。ただ、今回せっかく各界の皆さんがお集まりいただき、協議した内容ですから予算の必要の無いもの、教育委員会の方針等、教育委員会で対応できるものは、反映させていきたいと考えております。また、各団体でお願いできることは、持ち帰っていただいて実施していただければと思っております。</p>
浦江座長	<p>ここで決定した内容を市民の皆さんに理解していただきながら、市全体で子どもを育てていく基となる話し合いになりますので、意見のありました周知の方法についても話し合っていく必要があると思います。</p>
今西委員	<p>公民館の場合は、文部科学省の学校支援地域本部事業に6年ほど前から取り組んでおり、現在では、ほとんどの公民館で取り組んでいます。内容は、地域の人材を生かして学校の中に入って何ができるのかを学校の先生と話し合いをしながら、無理強いすることなく学校が望んでいること、地域ができることを話し合いをしながら進めています。なかなか学校の敷居が高くて地域の人が入りにくいということはあるのですが、できることからやろうと、学校の環境整備とかのハード面の取組を行っています。しかし、教育力、学力の向上とかはとっつきにくいのですが、かなり進んだ公民館では学力向上に踏み込んでいる公民館もあります。具体的にどのような活動をするのかは、学校からもいろいろ意見を出していただいて、我々公民館でできることは進めていくという状況です。</p>
浦江座長	<p>こんなことができるかもしれない、こんなことをお願いしたいということがお</p>

<p>森委員</p>	<p>互いにオーバーラップしながら進めて行くということですね。</p> <p>同じく公民館なのですが、各団体の現状と問題点を少し報告した方が視点が明らかになると思うのです。私もPTAに所属していましたが卒業して長いので、現在は新たな問題点を抱えていると思います。とりあえず公民館の現状と問題点について補足で説明いたします。事業としては、先ほどの学校支援地域本部事業、放課後子ども教室推進事業を全館ではないですが行っています。あるいは生涯学習事業の中で家庭教育学級とか、もしくは三世代交流事業というふうに地域で子どもを育てるという視点で事業を進めています。実際はどうかというと放課後子ども教室は、基本的に登録制で開催日が全市的には土曜日が多いので、スポーツ少年団と時間が重なっているので低学年と限られた子供たちの参加にとどまっています。学校支援地域本部事業は登下校時の見守りから始まり、環境整備、読み聞かせと本当に地域の方がボランティアで、大変活発にされていると思います。ただ、その方たちから言われることが、当のPTAの保護者の方からの感謝の声が聞こえてこない、学校からの連絡が無いなどが公民館に寄せられます。保護者と地域の方との連携の仕方については、今の社会情勢で関心もなく薄れているので、その距離感を埋めるためにどういう手立てがあるのかを考えることはすごく大事なことだと思います。ボランティアで愛護班をしているのですが、皆さんは愛護班といえば100%というような昔の時代に育たれたと思うんですが、今新居浜市は連合としても休会しておりますし、各校区で愛護班という名前があっても、GPMと見守りだけであったり、子ども会の延長で活動しています。新居浜市ではPTAの組織率はほぼ100%だと思いますが愛護班は50%以下です。私は宮西校区なのですが高学年では保護者の興味は、スポーツ少年団、学力の向上の方に関心がいって、そういう社会的なみんなが集まるような参加には関心が薄いので、その辺の問題点は前から指摘されているのですが、そこに何か手立てができればと思います。</p>
<p>浦江座長</p>	<p>今、公民館活動の立場ということでご意見いただきました。実際の取組として放課後子ども教室、三世代交流事業等で子どもを含めて地域の活性化を図るということに努力されているが、参加者ということでは難しいところがあるというご意見でした。それぞれの立場で一生懸命しながら子どものためという気持ちがお互いの中にあるながら隙間が出てきている。その隙間を埋めるための方策というの、この会の検討していくべきものだと思いますので、今のご意見等を参考にしながら進めていけたらと思います</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>それでは新居浜市小中学校のPTA連合会から今やっている事業について説</p>

	<p>明させていただきます。まず、学力向上に関しまして図書活動を推進しています。これは数年前から新居浜市が行っておられます学力テストで、何が悪いかというところで、読解力が無いという報告を受けておりますので、学力向上また、愛媛県PTAからもそういう事業をしてはどうかとの話もありましたので、まず、図書館の有効活用を実施しております。現状小中学校で言いますと、図書委員さんという方が新居浜市では数名しかいないということで、なかなか図書館を有効に利用できていないという報告を受けて、それを回避するために今いろんな活動をやっている最中でございます。それともう一つ、生きる力を育む環境づくりを昨年度からやっております。ボランティア活動で陸前高田の被災地に行って被災した方々の話を聞きながら、命の大切さ、また日本人としての誇りというのを昨年度から実施し継続していこうと考えております。地域で子どもたちを育てる環境づくりにつきましても、家庭の問題もありますけど保護者が理解していないことの一つに性教育があります。ほとんどでたために教えている部分が結構実際のところありました。そういうことから健康危機管理ということで、勉強会を各学校に案内を出しております。これは簡単に言うと性教育なのですが、小学生の親、保護者が知っておかなければならないことではないかなと思いつつながらそういう活動をしています。ただ本当に問題のある保護者さんが聞いていただけるようには、今はなっていないのですが、資料を2部持ち帰っていただいて参加していない方に渡していただく、そういう活動をしながらやっています。以上が継続事業として三つございます。</p>
<p>浦江座長</p>	<p>ありがとうございます。ほんと、読解力はじめ子どもたちの教育力を高めるためには、私たちの教育力を含めての取組を続けておられる本当にありがたい活動です。</p>
<p>一色委員</p>	<p>教育力向上ということ考えていることですが、学校、家庭、地域が同じ方向で進むために、一つは自分が学んでいる学校が好きだよ。地域が好きだよ。で、新居浜が好きだよ。そして日本が好きだよ。という子どもたちを育てていくことだと思っております。そのために学校、家庭、地域がどういうふうにしていくかという、そこに接点を見出していったらいいんじゃないかなと思っております。今いろいろ校区で取り組んでいける、例えば「泉川大好き」そういうキャッチフレーズとか、多喜浜校区でも地域との連携が非常に深くいい方向で取り組んでいってるんじゃないかなと思っております。教育力の向上ということで、新居浜市の全部の小中学校がESD、ユネスコスクールに加盟しようと、今動き出していますが、そういうのも一つのヒントになっていくんじゃないかなと思っております。先ほど渡邊PTA会長さんから図書館の有効活用という話がありました</p>

	<p>が、現場も図書館の有効活用という声は、非常に高いものがありますので、それについては次回言っていきたいと思います。教育現場、先生方は非常に苦勞しているところがあるので、現場の声、そういうことも次回まとめて話をしていきたい。</p>
<p>浦江座長</p>	<p>一色委員さんから地域を愛する。そのために新居浜市は、今「あいさつ日本一」というようなフレーズで、人と人とのつながり、心の窓を最初に開く挨拶で活性化しようと、市長さん、教育長さんの話の中で聞かせていただきました。学校としても、それを受けまして挨拶についてPTAの会の中でも、言葉かけ挨拶をお願いしています。温かい意味での言葉が地域に溢れたら。そういうことを目指して頑張っております。今、公民館、PTA、学校という形でお聞かせいただきましたが他に何かありませんでしょうか。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>あいさつ日本一ということで、言葉かけ、声かけのセオリーということで県P連の中で最近よく出てきている言葉として3Sという言葉が出てきています。子どもたちと接している中で「すごい」「さすが」「すばらしい」そういったことを、まず接頭語において後、ほめるというふうなことを進めて行く。これは、ある種、称賛するということを大前提として声かけだったり、言葉かけをするというようなことを実践していこうということで、ことあるごとに会の中では出てきています。そういうことを実践していくということは一つの大きなものになっているとは思いますが。</p>
<p>浦江座長</p>	<p>単に「おはよう」とか「こんにちは」だけでなく、やはり子どもたちは認められているということで、喜び、嬉しいところがありますよね。このおじさん、このおばさんと親しみが湧いてくるんじゃないかと思います。わたし昨日聞いたのですが「さんさん運動」とかいうのもあって、どこかの団体がされているのを聞きました。一日に33回は挨拶しようじゃないか。家庭でも、地域でも、学校でも、33回、さんさんと太陽が降り注ぐがごとくというので、「さんさん運動」をしているのをどこかでしているのを聞きました。回数も大事ですし中身も大事でしょうし今からも働きかけていけたらと思います。</p>
<p>横井委員</p>	<p>今、県教委と市教委による各学校の学校訪問という行事がございます。毎年すべての学校を訪問し、今年度も現在までに10校ほど訪問しており、今日も午前中訪問していたのですが、学校を訪問して感じることを現状として述べさせていただきます。学校の状況を見たときに、私自身が感じるのは、やはり年々教育環境は整ってきて子どもたちにとって過ごしやすい学校には</p>

<p>今西委員</p>	<p>なっているな、と年々感じております。これは35人学級が国の方では小学校1年でストップしましたが、愛媛県が独自で小学校4年まで進めています。そういう人的配置、1クラスの人数が20何人とかいうクラスと今だったらぎりぎり40人というクラスもあるのですが、随分教育環境としては違います。それがやはり、だんだん1クラスの人数というのは少なく設定されて、教員一人がみる人数は少なくなっています。こういう面では充実しているなど思っております。また、新居浜市独自で特別支援的な配慮が必要な子どもへの、支援員等の予算を組んで雇っています。これは新居浜市がかなり進んでいる分野でございまして、そういう意味でも一斉授業、みんなの中では分かりにくいなという子どもには支援員のつく体制も整いつつあって、年々良くなってきているなというのは感じております。子どもたちの状況も、どこかの学校が荒れて困っているとかそういうことはない状況です。ただ子どもたちの状況は良くなっているのですが、実際世の中から求められたり、特に保護者から求められたり、求められていることも高くなってきているし、また、特別支援の必要な子どもの割合も増えてきています。だから学校現場として状況は良くなっているが、要求されていること、そして、その支援しなければいけないことも凄く増えてきています。そういう中で教員の多忙感というのも凄く大きなものになってきているなど感じております。そういうことから教員の病休とか休職とか精神疾患なんかも比較的に高く出ている、話の出ているように、家庭、そして地域の方も借りながら、そして予算的に大きいので難しいとは思いますが、行政のできる限りの人的な支援が必要だと思います。また教育環境ですが、今ICT機器は市の方でかなりの予算を組んで電子黒板なども導入されておりますけど、そういう道具、できるだけ子どもたちにとって分かりやすい、そういう道具の支援もこれから進めていく必要があるなど思っています。また、最後に大事なのは教師、保護者、地域も一緒ですけど人的な子どもたちへの関わりの質、先ほど3S運動なんかもありますけど、どういう言葉かけをして、どういう指導をして支援をしていくかという、そういう質の向上というのも、これから大切な分野になるのではないかなど思っております。そういう質の向上の意味から教育委員会には学校の教員が指導主幹として発達支援課には2名、学校教育課には3名おりますけど、その指導主幹の多忙感も本当にすごいものがございまして、やっぱりそういうところの人数を増やしていくことも、そういう指導の質を上げることにも繋がってくるのかなど思っています。</p> <p>学校現場としては、保護者からいろんなことを要求されていること、求められていることがいっぱいあると思うのですが、学校現場でどういうことを求めら</p>
-------------	--

	<p>れているのか、どういうことを言われるのかは聞いてもなかなか教えてくれませんが、相当苦労していると思います。我々もそういう問題がもし起こった場合には、学校の校長先生、PTA会長、地域の団体役員で毎月定例会をしているので、いろんなことを言い合う中で、そして解決できるものは地域のみみんなで解決していこうと思います。不登校なりいじめなり、そんな問題があれば言っていていただいて結構ということで、そういう場合、父兄の方もあんまり文句言わんと思うのです。だからやっぱり地域でそういうふうな話し合いをできる場を作るという事が大事です。問題は大きくなってしまっは、なかなかとりかえしが見つからないので、やはり問題が小さい時から話し合いしていくことが大事です。</p>
<p>浦江座長</p>	<p>まず、顔を合わせて、それで意思の疎通を図っていくことが大事です。いろんな課題がございますけど、私も、そういったことでいろんな地域の方の力を借りて、中には入っていただいて、ありがたい協力を得ながら子どもたちが一步一步階段を登っていく姿を実際に見させていただきましたし本当にありがたいと思っております。</p>
<p>木村委員</p>	<p>先ほど一色委員さんからユネスコスクールのお話をいただいたのですが今回特に事務局の方もユネスコスクール申請ということで頑張っているのですが、今回特にユネスコ協会の方から吉田委員さんをお願いいたしました。何か協会の方でされているようなことがあればお願いします。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>ユネスコ協会が去年から各学校さんにユネスコスクールへの本部への申請をしていただいているということで本当にありがとうございます。ただ、非常に温度差があるという状況でございまして申請できているところ、できていないところあり、4月の段階で26校すべての学校で愛媛県教育委員会への英文での申請は終了し、文部科学省の審査に進んでおります。そのうち14校は審査が終わり、パリのユネスコ本部に申請書が送付されている状況です。ユネスコ協会としてはいろいろと協力していきたいと考えておりますので是非ともよろしくをお願いします。</p>
<p>木村委員</p>	<p>ユネスコスクールの目指すものにESDという教育があります。これは、持続発展教育と日本語では訳すのですが、まだ分かりにくいところはあります。一つには生きる力を育てて行くということが持続発展教育、ユネスコスクールだと思います。またESDについて分かりやすい資料を次回までに用意させていただきます。</p>

<p>浦江座長</p>	<p>新居浜市の学校としましては、今説明のございましたE S D教育を推進するためにユネスコスクールに加盟させていただいて、子どもたちは今現在を生きているのですが、将来を見通して将来の子どもたちに引き継いでいく、そういった活動をどんどん発展させることで自分自身の自己悠揚感を高めいけたらということも考えながらユネスコスクールへの加盟、E S D教育の推進を今進めていこうとしているところです。それについては今話のありましたように次回どういったことを学校で習っているかも説明させていただきます。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>いろいろな活動をする中で最近気になっているのは男女の比率です。今年のボランティアでも2/3は女の子、海外に行くときもほとんどが女の子で、男の子は一人しかいない。そういうシーンを多々見るようになり、女の子が強くなったのかなと思ったりして、その辺の問題ってというのは、誰が何をどう解決していくのか。男の子にもっと積極的になりなさいよとか。そういうふうな感じに、教育を誰が、どうしているのか。世の中の女の子が強くなってるなというのは報道でもわかるんですが、そういうことが分かれる方がおられましたらちょっとご意見をいただきたいなと思います。</p>
<p>浦江座長</p>	<p>よく男女共同参画のことは言われていますけど、その逆の心配ですよ。実際ですね、南中学校でも先週弁論大会をいたしました。その弁士が5名、1年生の代表が1名、2, 3年生が2名の計5名が参加したのですが女の子だけです。もちろん女の子がそういう形で活躍するのは本当にありがたい。ただ弁論の場でも女性の目、男性の目、いろんな見方をして欲しい。ということ弁論大会が終わった後の講評で男子も自分の意見を述べる。そういう活動にどんどんチャレンジしてほしいというようなことは、述べたりはしたりしているんですけども、男性頑張れという教育は難しい。男子も女子も頑張らなさいよ。お互いにお互いを尊重しながらということは、いろんな教育の中でしているのですが。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>全体比率的に女性がだいぶ頑張っている。女の子が頑張っているというのが現状です。両方とも頑張らないさいよという教育は分かるのですが、いつ頃から女の子達がリーダーシップをとるようになって、各地域も全国的にそうなのかなと思いつつながら。</p>
<p>浦江座長</p>	<p>国際交流での参加者、今言った弁論大会の参加者、ほとんどが女の子というのが現状です。それも今から考えていくべきことではあると思いますね。男の立</p>

	<p>場でものを言うのではなく、男女が本当に協力しての活動が大事になってくると 思います。私たちが育てる中でもリーダー育成、リーダーになる子どもが今な かなか少なくなってきました。強いリーダーがいなくなってきたというのが問 題になっているのですけど、その中でも男の子のリーダー、女の子のリーダー 両方の立場から学級や学校を引っ張ってくれる、そういう子ども達が育ってい くべきであると思います。そういったことを考えることが必要ですし考えたい と思いますけどなかなか難しい問題ではございます。何か情報等がございまし たら教えていただけたらと思います。</p>
一色委員	<p>先ほど横井委員の方から学校訪問をされての意見をいただきました。その中で 各校に支援員さんを配置してその成果が出ている。ICTも有効的に活用され ている。現場も確かにそう思います。が、新居浜市ができることは、こんなも んじゃなかろう。というところを次回意見を言わせていただきたいと思います。 よろしく願います。先ほどの女性の話は、新居浜市住みやすいまち、全 国9番目、ほんとかないながら、やっぱり女性が強いからだと思います。</p>
浦江座長	<p>私の中学校で言いますと実は生徒会役員も女性をはるかに多い状態が続いて おります。しっかりしていますね考え方が。ほんとこの辺でしっかり考える男 の子も育っていかなければいけない。というのは強く感じております。それぞ れの特性はございますけども、男と女、男の子と女の子、両方が活躍できる場 というのは大事だと思いますので今後考えながら進めていきたいと思いま す。また、いろいろ教えていただきたいと思います。</p>
浦江座長	<p>公募でご参加いただいているのですけど、何かこの会の中での感じたことでも 結構ですし普段思っておられる教育力、子どもたちの生きる力を育むために ついての意見でも結構です。何かこの場で教えていただけたらと思います。</p>
中山委員	<p>子どもが、高校生2人と中学生1人と保育園1人と4人いるのですけど、完全 に保護者の立場で皆さんの話を聞いていましたが、地域の方といろいろと繋が って子どもを育てていくっていうのを、今まではそれほど意識したことは無か ったのですけど、今回初めていろいろ考えるきっかけになりました。公民館の 話もあったのですけど、なかなか高校生、中学生になったら地区の運動会があ るよとか言っても行きません。行きたがらないんですよね。友達が行くよっ て言ったら行くんですけど、そこが難しいのかなと思いつつ聞いていました。</p>
浦江座長	<p>どこまで参加に協力できるか難しいですね。ありがとうございました。</p>

<p>國司委員</p>	<p>今日はいろいろとお話を聞かせていただいてありがたいなと思います。個人的なお話をさせていただくと私は渡邊委員と3年になりますけど、市のPTA連合会で今年は相談役、去年一昨年と事務局長をさせていただきました。今は、伊藤委員と一緒に西高の副会長をさせていただいております。こちらに引っ越してきました5年になります。子どもが高津小学校、東中、そして今、西高に行かせていただいておりますPTAの方たちとの出会いが私の宝ですし、地域もとってもいい所だなと思っております。そしてよく教育長さんがお話をされるときに私大好きだなと思うのが、学校の学びの場、家庭のしつけの場、地域の育ての場、本当にそうだと思う、ややもするとしつけのところを学校の先生のところへ相談に行くようなバカな親がいたり、やっぱりそうでなくて家庭でしなきゃいけないこと、すべきこと、それを学校と、地域と、いつも素晴らしいと思っております。先ほど、会長さんがお話しくださいました泉川校区のことも、東中も今定例会を開催しており、私も行けるときは行かさせていただいておりますが本当に素晴らしいなと思います。見守り隊で毎日ジャンパーを着られて、私、山口でもずっと副会長とか会長をしてまいりましたので市P連にもいましたし、県P連にもいかさせていただいて、その中にあっていろんな事件があった頃でしたので見守り隊も発足しました。私もマンションを朝早く出て学校の前に立って挨拶をしておりましたので、こっちへ来て自分ではなかなか行けなかったのですが新居浜は素晴らしいなあと思いました。今回ご縁があってこちらに参加させていただいたので山口の時に感じたことも、もう少しお話ができたらいいかんかと思っておりますし、よそから来て私が感動したこと、あれこれはどうなんだろうと思ったことも少しづつ、お話させていただければなと思っております。</p>
<p>浦江座長</p>	<p>次回以降よろしくお願ひします。行政委員の方から何かございませんか。</p>
<p>尾崎委員</p>	<p>子育て支援課なのですけども、相談とかもお受けしています。今、保護者の方がやっぱり育児能力が低下している。お母さんが精神疾患とかを持たれていて、なかなか朝起きられなかったりとか食事がなかなかできなかったりして学校に子どもさんを送り出せてない、不登校になって子どもさんがずっと家に籠っているというような相談を沢山お受けしています。私たちには、何の職権もありませんので学校からお電話がかかってきた場合は家庭訪問とかもするのですが、出来ましたら地域の力をお借りして、そういう家庭に地域の方がちょっとお声かけいただいたりして学校に行けるような体制を作ってあげられればいいなあと思っております。お母さんが中にいても寝ている、朝食べるも</p>

	<p>のものない。一緒に子どもも二度寝してお昼ごろに起きてしまうみたいな家庭環境などが問題だと思います。学校の先生からお電話いただいて家庭訪問の依頼もあるのですが、全然、知らない市役所のものがピンポン鳴らしても出てきてくれない。中に確かにお子さんはいるみたいですが出てきてくれなかったりするので地域の力って大きいと思うので、皆さんの力で、時々声をかけていただくとか顔つなぎをしていただくことの必要性を感じます。公民館活動であったり、ちよくちよく顔を覚えていてもらって、そこに子どもがいて日頃から見守っていただける体制が大切だと思います。</p>
<p>浦江委員</p>	<p>ありがとうございます。私も家庭訪問して子どもさんに会えなくてもせめて親御さんに会えたらというところの問題も抱えております。教員が行って心が折れるんですよね。何回お邪魔しても会えない。子どもどころか家庭の戸が開かない。電話にはもちろん出てくださいらない状況もあります。そういうことが、実際のどの学校でもある程度抱えているじゃないかと思います。教育力向上以前の問題で、まず社会の一員として、足でも手でもかかったらいいな。そういうことも、やはりこういった場でも話していただくのが大事じゃないかと思いますので是非よろしくお願いします。</p>
<p>眞鍋委員</p>	<p>私も4月から社会教育課長として仕事をさせていただいておりますが、直接業務として関わる前は、公民館のことについては夕涼み会があるとか校区運動会があるなどという程度での認識でした。現在は先ほど館長も言われたように地域主導型として見守り隊とか学校支援事業で環境整備とか様々な取組をされている。また、地元を知ってもらうために口屋跡公民館のように教本みたいなものを作って、それを学校に配布するような活動をされています。これは副読本として使っていただいております。また泉川公民館、船木公民館は学校と協力して地域のカレンダーを作成いただいて地域に配っているということで、かなり地域に入った活動をされているなどは感じております。これをどんどん続けていけば、地域としてかなりのことができると思うのですが、先ほど言われましたが、PTAの関係とか学校との関係とかを、どのようにうまく機能していくかが私の中では、まだ未整理の状態ですので会の中でいろいろ意見を聞かせていただければありがたいと思っております。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>いつもありがとうございます。学校教育課ということで、学校の整備の方の立場からご説明させていただきます。学校施設については皆さんもご存じのとおり、古くて修繕が必要、改修が必要というところが多いのが現状です。そういうところで校長先生方にはお叱りをいただくのですが、予算的にも少なくな</p>

	<p>かなか満足のいく施設の状況ではなく、ご迷惑をおかけしています。その中でも話がありましたけど電子黒板であるとか、今の時代なので将来的にはタブレット端末とかを、少しからでも整備を進めていきたいと思っております。耐震補強工事が終了し、大きい予算ではありませんが小中学校の整備を始めたところでございます。それ以外にも、今の子どもたちは、和式トイレというのも使えない状況になってきていますので、各トイレには必ず一つの洋式トイレを作るとかB版からA版に書類が変わったので、カバンが大きくなりましたのでロッカーを改善してく等を進めています。子どもたちが学びやすい環境を目指し大きな改善はできないのですが、少しずつでも改善していきたい。個人的な意見なのですが、これだけ夏が暑くなってまいりますと10年先を見越して各教室にエアコンの整備等を考えていかないといけない時期が来ているのじゃないかと思っております。何十億の莫大な費用が必要なので、この場でできますとは言えませんが検討する必要があると思います。教職員が、子どもたちの学力や居心地のいい学級づくりの手立てとなるような新居浜市独自の学力テスト、Q-Uの導入を進め、今年は放課後に子どもたちの学習支援ができないかということで、モデル的に3公民館で放課後に学習支援事業を2学期ぐらいから立ち上げたいと今準備を進めているところです。ご協力をお願いします。</p>
坂上委員	<p>連合自治からは、森委員からもありましたが、三世代交流、見守り隊等があるのですが、現在、連合自治会としては防災組織に力を入れています。単位自治会では組織率は100%には達していないのですが、今年度の100%を目標に連合自治会で進めています。そういう中で、子どもたち保護者とも連携して進めて行こうと思っております。宮西校区、口屋跡公民館なのですが、連合自治会で宮西小学校の昔のジオラマを作って宮西小学校の児童の皆さんも喜んでくれました。公民館が改修するのでしばらくの間市役所のロビーに展示しますので皆さん見てあげてください。</p>
浦江座長	<p>次回以降今回頂いた意見をもとに、また次回の意見をもとに会を進めていきたいと思っております。本日は、貴重なご意見ありがとうございました。それでは、以上で第1回「教育力ワーキンググループ」を終わります。委員の皆様には、今後も、ご協力をよろしく願いいたします。本日は、大変お疲れさまでした。</p>